

# かわむらこどもクリニック NEWS

Volume 3 No 12

29号

平成7年12月 1日

## 新しい小児科外来

院長

先日、山形で小児科の先生の集まりがありました。東北6県の小児科医が大勢参加しました。話題の一つが、「新しい小児科外来」というものでした。

今回は、新しい小児科外来、また良い小児科医について考えてみます。

ある先生の報告で、アンケートのなかで開業医に対しての不満には、次のことがありました。病状の説明がなかった。長く待った。ぶつぶつのある子がそばにいた。聴診器を当てただけで、検査をしなかった。もちろん、これが全てではありません。

お母さん達の思っている、良い開業医というのは、どういふものなのでしょうか。かんたんに言ってしまうと、良く説明してくれて、待ち時間が少なく、必要に応じて点滴や検査をしてくれる先生でしょう。しかし、考えてみると説明が詳しく丁寧ならば、次の人の待ち時間が長くなります。待ち時間を少なくするためには、説明を短くするしかありません。これは、私達にとっての永久的問題で、ジレンマでもあります。検査を行えば、会計金額が上がります。会計金額のことを考えると、検査が出来なくなります。

解決方法は、ないのでしょうか？みなさんご承知のとおり、以前より説明が少なくてすむようにと新聞を発行しています。もちろんこの記事を読んでいる人は、理解してくれているはず。お母さん達の疑問に答えるために、投書箱も準備しています。しかし現実にはどうでしょう。新聞の記事も読まない、投書もしない人、そんな人が順番のことも考えずに、診察室に長く居座るのかも知れません。実際こちら側の判断で、長く話さなければならぬ人や処置に手間がかかる人もいます。このようなことが絡み合い、待ち時間が長くなってしまいます。一つの解決策は、予約制です。実際に予約診療を行っている先生も、仙台市に数人います。小生も、予約制の導入を考えた事があります。実際今も迷っていることの一つです。実際予約制を導入している先生のところ

は、患者さんが多いところ。時間当りの予約数は、1時間に20人とか、15分に6人程度です。つまり3分診療になるわけ。3分診療が悪いとは思いません。多くの患者さんをこなすには、最後は時間との戦いだからです。今悩んでいることは、これでお母さん達が、満足するのということ。小児科のほとんどは、急性の病気です。時間で予定を立てられるお母さんの割合は、どのくらいでしょうか。朝予約して、予約時間が、午後4時で満足できるのでしょうか。予約のために毎日、電話をすることは、どうでしょうか。しかし、待ち時間を短くする方法で、最も理想的なものは、全日の完全予約制であることも確かです。予約制のためには、お母さん達と当院の間のお互いの理解と協力が必要です。先月の投書に、待ち時間と予約制についてのものがありました。こんな意見を、本当は待っていました。皆さん、いっしょに考えて見ましょう。賛成か反対だけでも結構です。もちろん理由を書いてくれれば、尚良いのですが。

新しいことにチャレンジしていくことは、年頭の新聞にも書きました。話は変わってしましますが、今コンピュータの世界では、マルチメディアとインターネットが話題の中心です。先日学会でも発表したのですが、マルチメディアを応用した院内の新しい掲示方法を計画しています。コンピュータを使って、お母さん達に操作してもらい、情報を引き出してもらおうシステムです。それからもう一つ、インターネットに当院のホームページを載せる予定です。インターネットと言っても分からないかも知れませんが、コンピュータを利用した大きなネットワークです。これはいづれまた紹介することにしましょう。

当院を良い小児科にするための、いろいろなアイデアもお寄せください。

喘息の勉強会の勉強会を開催します。

**12月21日(木)午後2時**です。

スライドや、パンフレットを使って、わかりやすく説明します。どんな簡単な質問でも結構です。聞きたいことを準備しておいてください。お茶でも飲みながら、楽しい勉強会にするつもりです。受付に申し込んでください。



**午後診療時間変更**  
12月19日(火)は、宮城野区1歳6ヶ月健診のため14:00~16:30まで休診となります。

**年末年始休暇**  
12月30日~1月3日まで、年末年始のため休診となります。

**12月のお知らせ**

## 読者の広場

今月も、投書有難うございました。先月号で、「喘息の勉強会を開催」と新聞に掲載したところ、25人のお母さん達から参加の申込を頂きました。先月号では、弱音をばき、

先生をはじめ看護婦さん、受付のおねえさんがたの対応には優しさで温かさが、いっぱい感じられて、いつもいつも感謝の限りです。先日も大変な混雑ぶり、お忙しい中、どんな質問にもいやなこいつ見せず、いつもと変わらぬ穏やかな口調で、ひとつひとつわかりやすく説明して下さい、先生には本当に感謝しております。真や受信後帰りに急に「おなががイタイ!!」と泣く子供の様子を見て、受付のおねえさんがカルテをとりだして看護婦さんにその様子を伝え、ある程度混雑しているにもかかわらず、すぐに再診して下さい先生と皆さまの連携プレーの見事に頭が下がります。

患者側とすれば、少しでも混雑緩和に協力するつもりで、具体的に端的に症状を伝えたり、不安な点は状況に応じて先生だけでなく、看護婦さんやあるときには待合室で他のお母さんに聞いてみたりという工夫？をしています。もちろん重要な部分は先生にお尋ねしています。またたいした症状でもないときには受診しないようにも思っていますが、実際のところ“ひどくなる前に診ていただこう”とか、先生が以前『心配な事があつたら、いつでもおいで』と、おっしゃった言葉に甘え、ついつい軽い症状の頃から受診して、混雑のタネをつくってしまっております。先生が以前新聞で『精神安定剤』という言葉を使っていたら、その話は私にはよく当てはまります。と、言いますのも受診の度に子どもたちには甘いシロップのお薬、親には目に見えない処方箋とたっぷりの『精神安定剤』を処方していただいて帰途につくからなのです...。お恥ずかしい話ですが、貴クリニックに通院するのも、もはや日常生活の一部になっているようで、こういうことを繰り返す毎に、“こどもを一人育てるのには多くの方の力を必要としているのだな”と実感しています。近くに信頼の出来るいいお医者さんがいるので、とても安心です。

昼食もとらずに朝から夕方まで診療を続けていらっしゃる事もあるそうで、本当に御多忙でいらっしゃるよに見受けられます。そこで先生も、こんな患者は困る!!というように一筆新聞に載せて頂ければ、今後患者側も気を付けることも出来ると思います。それから貴クリニックの新聞を読むまでは、投書箱の存在を知りませんでした。やはりもう少し目立つ位置に設置すれば投書は増えると思います。又はこの横にメモ用紙はあるのにペンがないのは不便ではないかと思えます。一本ペンをおいていただければ幸いです。長々と大変失礼いたしました。

Sakieのママ

何人ぐらゐ集まるかと心配したのが、嘘のようです。本当に、いつも新聞を読んでいただき、有難うございます。勉強会については、別の記事を参考してください。今回、都合で参加できない人には、別の機会に開催したいと思っています。

待ち時間に対して、半(部分)予約制の意見がありました。小生も考えているところです。小児科は、季節によって受診数

が極端に変わります。1時間以上待ったのに、翌週には全然待たずに受診できる、そんな変動です。そこに、また難しさがあるのです。待ち時間を、減らす努力はするつもりです。意見を、どしどしお願いします。

雄介、克哉ちゃんのお母さんから、質問がありました。「“子供に薬をあまり飲ませると、骨が細くなるとか歯が変色するらしい。現に私の子供も歯の色が変わっている”といわれたことがあります。私はきちんとお薬を飲ませています。先言葉のふと思ひ出します。」という内容です。確かに、時々聞く話です。我々は、小児科医です。子供の骨が細くなったり、歯を変色させたりしたら、小児科医失格です。特別な治療をしないかぎり、そんなことはありません。歯の黄色い人は、周りにもいるはず。みんな子供の時に、薬を一杯飲んでいたのでしょ。最近の子供は、骨が弱く骨折しやすいといわれています。その原因としては、栄養のことが問題にされていますが、薬が原因とは考えられていません。前にも書きましたが、周りのお母さん達のことより、小児科医を信用しましょう。小児科医なら、子供にとって不利益なことはしないはず。他に、朋美、南美ちゃんのお母さん有難うございました。

11月は、嘔吐下痢症(感染性胃腸炎)が、かなり多く見られました。いわゆる吐いて下痢する風邪です。他に、水痘、おたふくかぜも増加傾向です。インフルエンザは、まだ無いようですが、関西では、Aソ連型が見つかっています。他に気になるのは、マイコプラズマ肺炎です。高熱、咳で見つかります。注意しましょう。

先月の約束通り、投書箱を下駄箱と受付に用意しました。投書、ご意見、投稿何でもお願いします。イラストなど上手なお母さんの作品でも結構です。お寄せください。



コンピュータ好きなお父さんへ インターネットのメールのアドレス [kazu.k@man.ifnet.or.jp](mailto:kazu.k@man.ifnet.or.jp)。質問、相談があったらどうぞ!

**編集後記**  
少し、嘔吐下痢症のピークは過ぎましたが、また今日も、点滴の多い一日でした。明日は、また東北放送が取材に来ます。今日は、会議が終わって、10:30から新聞作り、また午前様です。あーあと溜息ばかりの毎日です。